

多賀城発で多賀城着。ヒト・コト・モノを届けます

「tag」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。



# やりがいと認めあいをばぐむ 世界にひとつだけの「さわり」作品

今年の3月、たがさぼに色とりどりの「さわり」作品が並びました。展示をしていたのは、障がいを持つ方やひきこもりの方をはじめ、誰もがさをり織りを通して自己表現できる場づくりを目的に活動している「さをりひろば余暇よか」。普段は利府町で活動していますが、展示会・ワークショップの開催をきっかけに、たがさぼでも活動するようになりました。

代表の大浪幸子さんは「さをり織りは初心者でも簡単にでき、さまざまな色の糸の組み合わせや織り方によっておもしろい模様ができるなど作者の個性や魅力が表われやすい」と話します。だからこそ完成した時の達成感があるとともに、作品を見て互いに認めあえることが励みになり、作者のさらなるやりがいにつながっていくそうです。



たがさぼ3階フリースペースで開催された展示会の様子



## 「さをり織り」とは

自分の感性の思うがままに織る手織り。老若男女、障がいの有無に関わらず誰でも取り組み、手本がないためその人独自の作品ができ上がります。



## 代表の大浪さん

中学校の特別支援学級の教員時代に行った、障がいを持つ生徒のさをり織り体験をきっかけにその魅力にひかれ、退職後、本格的に活動を始めました。



## 「青少年の森」(利府町)でのワークショップ

最近では、家族連れやお年寄りの参加者も増え、年間でのべ200人の方が参加しています。



## 「さをりひろば余暇よか」展示会&ワークショップ

日程：8月7日(日)～9日(火)  
会場：たがさぼ2階ギャラリー



## 連絡先「さをりひろば余暇よか」

E-mail: onami-hale@coffee.ocn.ne.jp

お気軽に!



## ヒント from “たがさぼPress”

たがさぼのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

● **がんばる人、一生懸命な人にエールを!** 2016年6月2日(木) 掲載  
高校の応援団OBで結成され、応援で多くの人を勇気づける「青空応援団」。がんばることの格好よさや、心と心のやり取りの大切さに気づかせてくれます。

● **「より良い地域や社会をつくる」をビジネスで!** 2016年6月21日(火) 掲載  
利益の追求を第一の目的とせず、地域・社会の課題をビジネスの手法で解決する「コミュニティビジネス」「ソーシャルビジネス」とは?

● **知的障がい者が参加できるスポーツの祭典** 2016年6月23日(木) 掲載  
スポーツトレーニングや競技会の開催を通して、知的障がいのある人たちの社会参加を応援する「公益財団法人スペシャルオリンピックス日本」をご紹介します。

## “たがさぼPress”とは?

たがさぼスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぼPressへ! \*ケータイ、スマホからご覧いただけます。



## たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します



# Tagayasu



多賀城で暮らす人たち、特に若者たちの「好き」や「やってみたい」を応援する「TAGAYASUプロジェクト」。多賀城の人たちが地域で活躍する人々と出会い語りあった様子や、全国各地で先進的な活動に取り組むゲストからのメッセージなど、2015年度の取り組みを1冊にまとめました。

読む人のココロを刺激して、自分のチカラで未来に一歩踏み出す後押しをしてくれる本です。市内公共施設などに置いてありますので、見つけた際はぜひ手にとってみてください。

発行	多賀城市(編集:NPO法人せんだいみやぎNPOセンター)
発行日	2016年3月
問合せ	多賀城市総務部地域コミュニティ課(022-368-1141)





みなさんは地域の情報をどこで手に入れますか。新聞、テレビ、インターネットなど様々な手段がありますが、なかなか伝わってこない情報も多いのではないのでしょうか。今回は、地域の魅力を発信するメディアのひとつである、塩釜のコミュニティFM「ベイウェーブ」を運営するエフエムベイエリア株式会社専務取締役の横田善光さんにお話をうかがいました。

## 📻 ベイウェーブの情報発信の特徴は？

ベイウェーブは車通勤の人や市場で働く人が多く聴いてくれます。塩釜、多賀城エリアに特化し、大雨時の道路冠水情報など地域に密着した情報も発信しています。また、地域の情報をなかなか得にくい人たちに対して、地元のお祭りやアーティストなどの情報を発信して、もっと地域のことを好きになってもらいたいと考えています。ブログなどWebも活用し、ラジオを聴かない人たちにも少しでもおもしろい人・もの・できごとや頑張っている人を知ってもらえればと思います。

## 📻 震災時はどのような状況でしたか？

コミュニティFMはもともと、阪神・淡路大震災をきっかけに災害時に力を発揮するメディアとして注目されました。ライフラインが停止しても、ラジオは情報源として頼りになります。ベイウェーブも東日本大震災で津波被害を受けましたが、こういう時こそ電波を止めたくないという想いでケーブルテレビのスタッフ、塩釜市役所の職員など、さまざまな人たちの協力で3月13日には放送を再開させました。災害に強く、地域情報に強いメディアとして、災害対策本部の情報や安否情報、ライフライン、お店の开店状況などを発信しました。

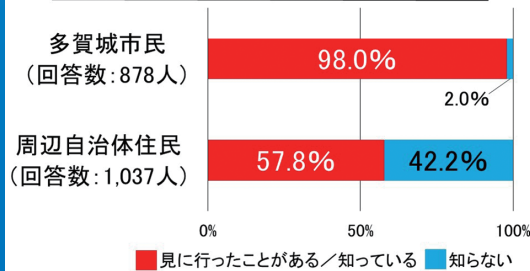
## 📻 地域の人たちはどのようにベイウェーブに関わっていますか？

震災後、それまでに出演してもらった地元ミュージシャンたちがスタジオの泥かきを手伝ってくれましたし、震災時の情報発信に対して多くの方があとからお礼に来てくれたり、手紙・メールをいただきました。日頃から地域の情報を発信してきたこと、震災時にも地元の人たちを助けたいという想いで放送を続けていたことが、みんなの役に立っていたんだと実感できました。また、聴くだけでなく、観光ガイドの人や地域イベントを運営している人たちが出演して地域の魅力を紹介したり、毎日届くお便りなどで地域の声を細かく拾い上げることができるのもコミュニティFMの強みですね。

## コミュニティFMとは？

FM放送の中でも、放送エリアを市町村単位といった狭い範囲に限定していて、地域に根ざした情報を届ける、地域住民が放送に参加しやすいといった特徴があります。また、災害時には臨時災害放送局として重要な役割を担っています。

### 「多賀城跡あやめまつり」の認知度



出典：2015年9月実施「多賀城市民意識調査」「仙台市及び周辺自治体住民意識調査」(多賀城市観光推進プロジェクト)



周波数…78.1メガヘルツ 出力…20ワット  
住所…塩釜市海岸通15-20 セレノ本塩釜駅前1F  
電話…022-363-3781 FAX…022-363-5781

